

被災地の広域連携を考える ～被災地の温度差を見つめよう！～

日時
会場

平成27年9月16日（水）14:00～17:00
広野町中央体育館 アリーナ

双葉地方では、震災以前から、行政や民間レベルでの広域連携が行われてきましたが、被災状況が地域によって異なっていることもあり、復興計画の作成、帰還・復興に向けた取組みは、主として町村ごとに計画・実施され、国等による支援も町村ごとの個別対応が中心となっています。

被災地の「温度差」を直視しつつ、町村を超えた広域連携の可能性を追求することが必要不可欠であり、このことは、被災地にとどまらず、本格的な人口減少社会を迎える日本全体の課題でもあります。

そこで、このワークショップでは、5人の方の話題提供を受けて、「教育」「医療保健福祉」及び「産業」の3つの分野でグループ討議を行い、広域連携の必要性やその可能性、連携を進めるうえでの課題等について検討していきます。

《プログラム》

入場無料
申込み不要

コーディネーター 塩谷 弘康（福島大学行政政策学類教授）
仲井 康通（福島大学いわき・双葉地域支援サテライト長）

◎ 話題提供

赤司 展子 氏（福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会スーパーコーディネーター）
川村 博 氏（NPO法人 JIN代表）
大和田 幹雄 氏（広野町商工会副会長）
松本 広行 氏（双葉地方町村会事務局長）
仲井 康通（福島大学いわき・双葉地域支援サテライト長）

◎ グループ討議

◎ 総括

連絡先：福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
（仲井）

TEL 024-504-2835 FAX 024-504-2865
E-mail fure-satellite@adb.fukushima-u.ac.jp